

第4章

学ぶ意欲を高める校内研修

学ぶ意欲に関する校内研修の4つのプログラムを紹介します。

この章の校内研修プログラムを学校において実施する際は、センター職員が研修の実際を支援することができますので、下記までお問い合わせください。

栃木県総合教育センター 研究調査部 TEL028-665-7204

プログラム1 学ぶ意欲に関する課題の把握

研修の計画

■ 研修のねらい

「学習に関するアンケート」の結果を分析し、学校、学年、学級の学ぶ意欲の実態を把握し、学ぶ意欲を高めるための重点目標を設定する。

■ 方法・形態 グループ協議

■ 事前準備 リーフレット「学ぶ意欲をはぐくむ」を読む。 「学習に関するアンケート」を実施する。

■ 展 開

内容	時間	概要及び留意点	資料
1 学ぶ意欲のプロセスの理解	15分	・学ぶ意欲のプロセスについての説明を読み（講師、学習指導主任から聞き）構成要素について共通理解を図る。	・本冊子（p 4～5）
2 「学習に関するアンケート」の学校全体の結果を分析	15分	①学校全体のデータを見て、傾向を把握する。 ②日頃の観察からの認識と合致する点、相違点などについて話合う。 ③学ぶ意欲を高めるための学校としての重点目標を一つ設定し、ワークシートに記入する。	・「学習に関するアンケート」結果 ・ワークシート
3 「学習に関するアンケート」の学年・学級の結果を分析（学年を中心としたグループ）	15分	①学年のデータから、学年の傾向を話し合い、重点目標や手立てを決めて、ワークシートに記入する。 ②学級のデータから、学級の実態を把握し、どの構成要素を中心に伸ばしていくか、また、その手立てを話し合う。	・「学習に関するアンケート」結果 ・ワークシート
4 情報交換	10分	・各学年の傾向と重点目標を発表し合い、共通理解を図る。	
5 振り返り	5分	・アンケートの結果に対する感想や今後の学習指導に生かしたいことをカードに書いたり話し合ったりする。	・振り返りカード

■ 評 価

自校の子どもの学習意欲に関する課題を共有し、目標や重点的に働きかける構成要素について、考えることができたか。

研修の進め方

強みと弱みを書き出す

「学習に関するアンケート」の結果から、右図のようなワークシートを用いて、学校、学年、学級の課題を把握し、重点目標を設定します。

学校全体のデータ分析は、全体会で行い、課題の共有化を図ります。学校の傾向を踏まえて、学年を中心としたブロックで、学年と学級の分析を行い、ワークシートに重点目標を記入します。

学級担任以外の教師も、関わりのある学年のグループで話し合います。

中学校では、教科担任制であるため、ワークシートを共有することが大切です。

【ワークシートの例】

「学習に関するアンケート」の分析（1年）

1 学校全体の重点目標

意見を言える雰囲気をつくる→安心して学べる環境

2 学年の傾向

【強み】 有能さへの欲求、 向社会的欲求	【弱み】 安心して学べる環境、 独立達成、有能感
----------------------------	--------------------------------

3 学年と学級の重点目標

・生徒に受容的態度で接し、よさをほめる。
・スモールステップで達成感を味わわせる。

1組	2組
3組	4組

教師の振り返り（例）

- ・日頃の観察による認識と、ほぼ合致していました。授業を工夫して、課題解決を図りたいと思います。
- ・多くの構成要素があることを知ったので、意図的に働きかけをしたいと思います。
- ・後でゆっくり、個人のデータも見て、指導に役立てたいと思います。

留意点・工夫

- 重点目標を掲げて、授業のしかけや子どもへの言葉かけを工夫し、数ヶ月後に再度アンケートを実施すれば、実践の効果を検証するのに役立ちます。
- 次年度の学習に関する学校課題を設定する際に、2学期以降の第2回目のアンケート結果を参考資料とすることも考えられます。

参考

- ・「学習に関するアンケート」とデータ入力フォーム及びリーフレット「学ぶ意欲をはぐくむ」は、栃木県総合教育センターのホームページに掲載していますので、ご活用ください。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/leaflet/ichiran.htm>

プログラム2 学ぶ意欲を向上させる働きかけの工夫

研修の計画

■ 研修のねらい

「学習に関するアンケート」の結果を踏まえて、学ぶ意欲を向上させるための有効な働きかけについて協議することで、これまでの授業構成や子どもへの働きかけについて振り返り、授業力及び学力の向上に役立てる。

■ 方法・形態 ワークショップ

- 事前準備 リーフレット「学ぶ意欲をはぐくむ」を読む。
「学習に関するアンケート」を実施する。

■ 展 開

*プログラム1「学ぶ意欲に関する課題の把握」を実施した場合は、内容2からスタートする。

内容	時間	概要及び留意点	資料
1 データの見方についての理解	5分	・アンケートのデータの見方について簡単に説明する。(講師または、学習指導主任)	・アンケート結果
2 データの確認	5分	・学校のデータ及び、指導に関わっている学級のデータを確認し、課題を共有する。	
3 ワークショップ	40分	①リーフレット「学ぶ意欲をはぐくむ」を参考にして、付箋に意欲を高めるための働きかけのアイデアを書く。 ②付箋をワークシート(模造紙)に貼りながら、働きかけのアイデアを紹介し合う。 ・発言は簡潔にすること、どの意見も受け止めることなどを共通理解しておく。	・学ぶ意欲のリーフレット ・付箋 ・ワークシート(模造紙)
4 情報交換	15分	・各グループで出た意見を発表し合うか、グループのワークシートを見て回るなどして、情報交換をする。	
5 振り返り	5分	・協議等を通して参考になったこと、今後の学習指導に生かしたいことをカードに書いたり話し合ったりする。	・振り返りカード

■ 評 価

自校の子どもの学習意欲に関する課題を共有し、学習意欲をはぐくむ働きかけについて協議することによって、今後の取組について考えることができたか。

研修の進め方

働きかけのアイデアを書く

学ぶ意欲を向上させるためには、各プロセスに働きかけることが大切です。リーフレットに示された例を参考にして、授業における具体的な働きかけを付箋に書きます。

付箋には簡潔に書き、詳細は協議の際に説明します。構成要素の略称を表示すると、分類しやすくなります。

<p>【安心】</p> <p>子どもの話をよく聞き、つぶやきを大切にします。</p>	<p>【深い】</p> <p>答えとともに理由を考えさせる。</p>
--	------------------------------------

【教師の働きかけの例(リーフレットp4)】



協議の進め方と効果

右図のようなワークシート(模造紙)を使い、各レベルに分けて付箋を貼り、働きかけのアイデアを話し合います。

日頃、何気なく行っている働きかけを、学ぶ意欲の観点で意味付けることができます。

学校・学年で平均点が低い構成要素や学校課題に関連のある構成要素についても話し合うことで、学校としての重点目標を設定することもできます。

【ワークシートの例】

【安心して学べる環境】

□ □

【③認知・感情レベル】

【②学習行動レベル】

【① 欲求・動機レベル】

□ □

教師の振り返り(例)

- ・たくさんの働きかけのアイデアを聞くことができたので、自分の重点目標に即して実践したいと思います。
- ・個に応じた働きかけをするためには、子どもの反応をシミュレーションしておくことが大切だと思いました。

留意点・工夫

- 働きかけや授業における工夫が、複数の構成要素に当てはまることがあるので、協議の中心が、構成要素を決めることにならないようにしましょう。
- ワークシートを見える所に掲示しておき、学ぶ意欲を高める授業づくりの意識付けを図りましょう。

【参考文献】「組織力の向上を図る校内研修の充実」平成22年11月 栃木県総合教育センター

プログラム3 学ぶ意欲を高める授業研究会

研修の計画

■ 研修のねらい

子どもの姿を基にして、授業の観点及び学ぶ意欲の視点に沿って協議し、授業のねらいの達成度と工夫した点の有効性について検証し、成果と課題を確認する。

■ 方法・形態 ワークショップ（1グループ：6～8人）

- 事前準備 授業の見方、付箋の書き方について共通理解を図る。【参考資料①】
 授業者は、授業の観点や重点的に働きかける学ぶ意欲の構成要素を知らせる。（授業の観点は1つか2つに絞る。）

■ 展開

内容	時間	概要及び留意点	資料
1 研修のねらいを確認	2分	・研修のねらいと研修の進め方について知らせる。（講師または、担当者）	
2 授業者の反省及び協議の内容を確認	3分	・共通の課題のもと、協議を深められるように、授業者が協議してほしい点を含め、授業の観点を確認する。	
3 ワークショップ	30分	①授業の観点について、参考になる点を、付箋（水色）を出しながら、話し合う。 ②授業の観点について、授業者に聞いてみたい点、気になった点を、付箋（桃色）を出しながら話し合う。 ③学ぶ意欲の観点から、①②と同様に話し合う。 ④授業の観点、学ぶ意欲の観点以外について、①②と同様に話し合う。 ⑤貼られた付箋をグルーピングしタイトルを付ける。 ⑥特に話題になった課題の対応策を話し合う。	・ワークシート ・付箋
4 情報交換	15分	・各グループで、話題の中心になったこと等を発表し合う。	
5 振り返り	10分	・授業及びワークショップを通して学んだこと、今後の授業に生かせることなどを書いたり、話し合ったりする。	・振り返りカード

■ 評価

- ・子どもの姿を基にして、授業の観点及び学ぶ意欲の視点に沿って、目標の達成度や工夫した点の有効性等について協議し、日頃の自分の授業について振り返ることができたか。

研修の計画

授業観察のポイントを事前に確認

授業研究会の前に、授業の見方を確認します。子どもの表情やつぶやき、ノートの記述等から、どの程度理解し、どのように学んでいるかを見取ることは、授業の構想や展開、授業中における指導力の向上に役立つと考えられます。

研修のねらいの確認（例）

- ・参加者全員が活発に意見を出し合うとともに、自分の授業を振り返る。（初期の段階）
- ・活性化が図れてきたので、授業の観点に絞って話し合い、協議の深化を図る。（深化を図る段階）

ワークショップの進め方

司会者は、限られた時間に全員が話せるように進行する。

- ① 初めて行う場合は、発言する順番を決めて付箋を出しながら、子どもの学びの様子について話す。その際、同じ内容の付箋を持っている人は、順番でなくとも出す。
- ② 授業者は各グループを数分ずつ回り、質問を受ける。
- ③ 観点以外で気付いた点については、その他の欄に貼る。
- ④ 同じような内容の付箋をグルーピングし、タイトルを付ける。このことにより、成果と課題が見えてくる。
- ⑤ 特に話題になった点について、対応策や解決策を話し合う。

教師の振り返り（例）

- ・何気なく行った言葉かけで、子どもが意欲的になったとの意見をもらったので、さらに、個人への言葉かけについて考えていきたいと思います。（授業者）
- ・子どもを丁寧に観察していると、1時間の中に、学ぶ意欲が高まる瞬間が何度か見られました。それを、持続させる指導について考えていきたいと思います。（参観者）

授業を組み立てる上での留意点

○授業のねらい（教科のねらい）を達成することが大切であり、学ぶ意欲を高めることは、そのための手段であることに留意する。

〔参考文献〕「組織力の向上を図る校内研修の充実」平成22年11月 栃木県総合教育センター

【参考資料①】

授業の見方

- 1 子どもの顔が見える位置に立つ
- 2 全体と個を見る
- 3 視点を意識しながら事実を見取る
 - 子どもの表情やつぶやき
 - 教師の投げかけに対する子どもの反応
 - 子どもの取組や変容

付箋の書き方

- 2色の付箋を使い分ける
 - ・水色：参考になる点
 - ・桃色：気になった点、疑問点
- 時刻を記入
- 中太のサインペンで
- 短い文や単語で

○月○日() ○○科「 」 ○年○組 授業者()

	授業の観点	学ぶ意欲の視点	その他
参考になる点			
気になった点			

ワークシートについては、本図のような観点別シート他に、時系列シート、2軸のシート等が考えられる。

プログラム4 学ぶ意欲を高める実践報告会

研修の計画

■ 研修のねらい

学ぶ意欲の向上を目指して取り組んできた実践を発表し合い、今後の取組の参考にするとともに、成果と課題を確認する。

■ 方法・形態 グループ協議

■ 事前準備 学ぶ意欲の向上を目指した授業の実践記録を書いておく。

■ 展 開

内容	時間	概要及び留意点	資料
1 研修のねらいの確認	5分	・研修のねらいと研修の進め方について知らせる。	
2 実践を発表 (4～5人のグループ)	25分	・事前に記しておいた「学ぶ意欲の向上を目指した授業作り」を用いて、発表し合う。	・実践記録用紙
3 成果と課題を確認	10分	・実態に即して、効果的であった取組について話し合う。	
4 情報交換	15分	・各グループで話題の中心になったこと等を発表し合う。	
5 振り返り	5分	・実践発表を通して学んだこと、今後の授業に生かせることなどを書いたり、話し合ったりする。	・振り返りカード

■ 評 価

・実践を発表し合うことにより、互いの成果を認め合い、自分の授業について振り返ることができたか。

研修の進め方

実践記録

発表することよりも、実践することが目的なので、研修担当者は、早い時期に、記録の様式を提案する必要があります。

実践記録の様式は、様々な形が考えられます。右のような項目の入った用紙は、日頃から授業づくりのメモとして使用し、各自がポートフォリオにして蓄積していくと効果的です。

【実践記録の項目】

- ◇学年・組・実施日
 - ◇教科、教材名
 - ◇働きかけた構成要素
- 1 授業における働きかけの工夫
 - 2 子どもの様子
 - 3 成果と課題
 - 4 感想

教師の振り返り（例）

- ・アンケート結果から、何をするにもまず、「安心して学べる環境づくり」が大切であると実感しました。
- ・学級に対して、個々の児童に対して、どのような働きかけが有効なのかを意識して取り組んだため、学ぶ意欲が高められたと思います。
- ・学年で同じ目標を立て、各教科で働きかけを工夫しました。他教科の指導から学ぶことも多く、情報を共有することが大切だと思いました。

留意点・工夫

- 実践記録（A4版1枚程度）を綴じて冊子にすると、一年間の取組のまとめとすることができます。
- 研修を通して、教師の学ぶ意欲も高めることが大切です。

